直言

創意工夫を凝らしたコロナ重症センター 看護師40人新規採用し万全の体制を敷く

スムーズに仕事を成し遂げた職員に心より敬意

野崎徳洲会病院（大阪府）院長　中川 秀光（なかがわ ひでみつ）

2月頃、大阪府から東上震一・医療法人徳洲会副理事長に徳洲会コロナ重症センター整備の打診があり、その後、事務長会で敷地に関する議論が行われ、当院に白羽の矢が立ちました。金澤秀人・事務部長から報告を受けた時は正直、驚きを禁じ得ませんでした。軽症・中等症対応のコロナ病棟38床とHCU（高度治療室）の重症病床5床を合わせ43床をすでに運営しており、看護師や医師の不足により、つらさが頂点に達していたからです。しかし、大阪府希望の30床に対応できる敷地があることから、徳洲会病院として尻込みはできないという思いもありました。当院の幹部会では強いニュアンスではなかったものの、受ける方向で決まりました。徳洲会グループの地域医療への貢献という重い〝朱印〟に加え、「いつでも、どこでも、誰もが最善の医療を受けられる社会を目指す」との標榜が反対意見を上回り、最終的に決定したのです。

準備不足でもスタート切って 頑張ればなんとかなると決心

3月11日、大阪府は重症センター整備事業の一次募集を開始しました。当院としては、設備はICU（集中治療室）、システム運営はHCU対応としても、相当数の新規看護師の確保が必要で、当初の30床から20床に減じて（それでも看護師40人が必要）申請しました。グループから看護師の応援を含め支援するという強い言葉をいただき、グループのありがたさを痛感しました。しかし、他の徳洲会病院に迷惑をかける心配と、看護師、医師の確保への不安から「まぁ、どこかの病院が応募して、うちは失格になるだろう」という期待感が私にはありました。

しかし、そうした思いに反し、同月26日に募集が締め切られ、当院に決定したのです。私は、この時点で腹を決めました。「すべてが準備できた時点で物事を遂行するのは、誰でもできる！まず、準備不足でもスタートを切って頑張れば、なんとかなる」という気持ちになりました。4月20日に補助金の交付決定、5月14日に「徳洲会・大阪コロナ重症センター」を着工、8月22日に竣工、9月16日に運用を開始しました。重症センターの概要は軽量鉄骨プレハブ造り・平屋建てで、治療棟、スタッフ棟、CT（コンピュータ断層撮影）棟を合わせ延べ床面積1830㎡、病床数20床。これ以外に多目的室（透析含む）2室が加わり、窓越しにご家族が面談できる部屋も設けました。死亡時面談ができない不幸な状況をなくすために設置したものです。重症センターの運営は原則2年間で、総事業費は9億9990万円です。かなり広い空間を確保し、気持ち良く働けるように設計しています。透析は2室以外にも4床対応できます。また将来、ワクチン効果で重症が減り、中等症が増えた場合、10床を中等症に利用できるように隔壁形成の扉を設けました。

看護師も40人が新入職しました。治療棟は陰圧に設定しており、ECMO（体外式膜型人工肺）は4台あり、さらに必要なら増設可能です。人工呼吸器は21台、これに付属したタイプのネーザルハイフロー（高濃度の酸素を鼻から高流量送り込む装置）が21台です。

「抗体カクテル療法」を 蓋にもすがる思いで実施

また、診療棟の多目的室を使用してコロナ外来も始めました。コロナ外来はPCR陽性で保健所、あるいは大阪府転退院サポートセンターから紹介された方、あるいはホテル待機の方自宅、センターから自宅待機になります。胸部CTと血液検査を行い、発症（熱、せきなど）から7日以内で酸素療法が必要でない軽症例、かつ重症化危険因子をもっている方が、抗体カクテル療法（ロナプリーブ）の適応となります。すでに50人以上が同療法を受けました。この療法への過度な期待は気になるところですが、少しでも効果があればと、藁にもすがる思いです。投与後に高熱や、その他の副反応を来す場合があるため、原則2日入院で行います。自宅、あるいはホテル待機の方はCTと血液検査の結果により、入院が必要な場合は中等症病床に入院していただきます。

最後に、事務職員、臨床工学技士、臨床放射線技師、看護部、医局の協力姿勢に目を見張るものがあり、とくに看護師の採用については人事部の女性職員の功績が大です。この職員以外にも、とくに積極的な対応をお願いするまでもなく、スムーズに仕事を成し遂げていただいたことに、心より敬意を表します。これからも皆で頑張りましょう。

神戸病院

新生児蘇生法学ぶ

プレホスピタルコース開催

神戸徳洲会病院は9月8日、NCPR（新生児蘇生法）講習「プレホスピタルコース」を開催した。同講習は日本周産期・新生児医学会の公認で、同コースは昨年5月に新設。周産期医療を専門としない救急救命士や看護師を対象に、医療施設外での出生を想定した新生児蘇生法を習得するのが目的だ。

新生児の人形を使い指導する泉井部長（右）

神戸病院は2025年2月に予定している新築移転に向け、小児科と産婦人科を強化。10月には産科病棟がオープンし、院内分娩が始まる予定だ。こうしたなか、周産期チームの知識の底上げを目的に同講習を企画。8月28日には医師、助産師、看護師向けの同講習「専門コース」も開催した。

講師を務めた泉井雅史・小児科部長は、コロナ禍ではとくに「プレホスピタルコース」の必要性が高まっていると強調、「コロナで自宅療養中に分娩し、搬送先のない母子の受け入れができるように準備することが重要です」と説明する。

コロナ自宅療養中に分娩 搬送先のない母子へ対応

同コースでは座学に加え、新生児の人形を使った実技訓練も実施。参加者は新生児の蘇生処置や予期せぬ場面で生まれてきた赤ちゃんのへその緒を切る訓練など行った。参加者からは「初めて見る機材がたくさんあって難しかった」、「受講内容は今後に生かせると思う」など感想が聞かれた。

泉井部長は「分娩予定前の急な出産や、隠れ妊婦さん、コロナで自宅療養中の妊婦さんなどがいると、産科を得意としない医師でも、お産を取り扱う必要が出てきます。生まれてくる新生児の約10%は何かしらの医療的介入が必要だと言われ、予想外の分娩は、より高度な技術が必要になることが予想されます。そのため医療従事者の新生児蘇生スキル習得と緊急物品、薬剤の備えが重要と考えます」と問題提起。

泉井部長は同講習の出張開催にも対応する考えだ。問い合わせは神戸病院総務課（☎078・707・1110）まで。

病気のはなし 63

新たな変異株

新型コロナ感染症

「講習の出張開催にも対応します」と泉井部長

WHO（世界保健機関）は8月31日、コロンビアで1月に見つかった新型コロナ感染症の変異株であるミュー株をVOI（注目される変異株）に指定した。ミュー株はその変異箇所から感染力が高い可能性、従来のワクチン効果が大きく減弱する可能性が示唆されているが、現時点ではコロンビアやエクアドルで増加傾向にあるものの、世界的感染には至っていない。

6月14日にVOIに指定されたラムダ株も同様で、南米（ペルー、チリ、エクアドル）で比較的多く広まったことから注目されたが、デルタ株のように急激に従来株と置き換わるほどの感染力の報告はなく、日本ではミュー株、ラムダ株ともに検疫でごく少数の海外渡航者から見つかったのみであることから、現時点では過度な警戒の必要性はないと見られている。

ただ、全世界で報告されている新型コロナ感染症の累計感染者数は2億2,000万人（9月5日時点、厚生労働省）に上り、感染者数が多いとそれだけ新たな変異株の出現スピードも速くなる。WHOがギリシア文字を当てている主な変異株だけで、すでに12種（9月23日現在）あり、細かな変異も含めれば相当な数の変異株がある。引き続き世界の感染動向に注意が必要だ。

主な変異株

	名称	発見された国
VOC	アルファ	イギリス
	ベータ	南アフリカ
	ガンマ	ブラジル
	デルタ	インド
VOI	イータ	イギリス
	イオタ	アメリカ
	カッパ	インド
	ラムダ	ペルー
	ミュー	コロンビア

＊WHOは感染性や重症度が増し、ワクチンの効果が減弱する可能性が高い変異株をVOC（懸念される変異株）、感染性、重症度が増しワクチンが減弱する可能性がある変異株をVOI（注目される変異株）に分類

新病院の見学会開催

札幌南病院

札幌南徳洲会病院は地域の医療・福祉関係者を対象に新病院見学会を開催した。同院は7月5日に新築移転オープンし、緩和ケア病棟を40床に増床するなど診療機能を強化。関連施設であるホームケアクリニック札幌、緩和ケア訪問看護ステーション札幌も8月に同院の隣地に新築移転した。

見学会は7月17、24、31日に行い、予約枠をオーバーしたため8月28日にも実施。計47施設・82人が参加した。「コロナ禍の影響で、新病院が竣工した6月の内覧会は断念しました。その代わり新病院オープン後に、感染予防のため医療・福祉関係者に絞り、1機関2人までの完全予約制で見学会を実施しました」（下澤一元事務長）。

参加者は受付や外来、透析室、一般病棟、緩和ケア病棟などを見学。なお同院はWEB内覧会の動画をホームページ上に公開している。

職員（左）の案内で新病院を見学

神戸病院 院内研修

「面会制限下の家族看護」 思い理解し支援検討

神戸徳洲会病院は「面会制限下の家族看護」をテーマに院内研修を実施した。同研修は、コロナ禍で患者さんの家族がどのような思いを抱えているかを理解し、支援方法を検討するのが目的。参加者は座学とグループワークで学び、翌日からの実践で取り組めることを考えた。7月17日に開催。看護師22人が参加。

グループワークで話し合った内容を代表者が発表

講師には兵庫県立尼崎総合医療センターの米田愛・家族支援専門看護師、石井あや美・集中ケア認定看護師、兵庫県立こども病院の浅井桃子・家族支援専門看護師の3人を招聘。中村美津・看護部長と竹田洋樹・副院長は「第4波が落ち着いたのを機に、改めて家族看護について考えたいと思いました。同時に、スタッフへのグリーフケア（深い悲しみから立ち直らせるサポート）の意味合いもあります」と説明。

座学は「家族看護のニュー・ノーマル」がテーマ。コロナ禍で家族が患者さんに会うことができないなか、命にかかわる意思決定を余儀なくされ、家族を失うかもしれない恐怖にさいなまれている現状を共有。さらに医療者の体験では、尼崎総合医療センターと神戸病院の看護師が、それぞれ事例を発表した。

参加者一人ひとりが翌日からできることを考える

続くグループワークは「明日から取り組める方法とは？」がテーマ。これまで行ってきたケアで良かったこと、これから意識しようと思うことなどを話し合い、グループごとに発表。最後に「ご家族の価値観、患者さんの家族内での役割を知ること、医療者間でご家族のことや目標を共有することなどが大切」と総括。

参加者からは「自分だけでなく、皆同じような気持ちで働いていることがわかった」、「患者さんの状態を知りたくても遠慮しているご家族がいるかもしれないと、いろいろな可能性を考える必要がある」、「コロナ病棟だけでなく、院内面会禁止のため、全病棟が考えるテーマだと思った」など感想が聞かれた。

また、今後の目標として「連絡をする時に患者さん、ご家族がどういう感情でいるのか、ただ業務的にならず、ご本人の意志を尊重したかかわりができたら良いと思う」、「積極的にご家族とコミュニケーションを取っていきたい」、「自分たちは聴くこと、伝えることが求められていると思う」などが挙がった。

研修を終え中村・看護部長は「それぞれに響くものがあり良かったと思います。今後、患者さんのご家族には、医師からの説明を聞き終えた後に、看護師も面談をして不安を取り除いていきたい」と抱負を語っていた。

羽生病院リハビリ科

学生にオンライン説明会

回復期病棟開設へ採用活動強化

川島副室長（右）と保坂主任

質疑応答では学生から多数の質問

羽生総合病院（埼玉県）リハビリテーション科はオンライン就職見学・説明会をスタートした。同院は2023年に回復期リハビリテーション病棟を開設予定で、優秀な人材を迎え入れるために採用活動を強化。8月24日に第1回、9月14日に第2回を実施。10、11月にも第3、4回を予定している。

同院リハビリテーション科の責任者を務める川島宏美副室長（言語聴覚士）は「今年はコロナ第5波と重なったためオンライン開催にしました。医学生向けのWEB説明会のインフラが整っていたので、そのノウハウを活用しました」と説明する。

第1回は4人の学生が参加した。川島副室長と保坂彰子主任（理学療法士）が挨拶し、学生たちが自己紹介。仕事のやりがいや魅力、教育体制、勤務の1日の流れ、福利厚生などを説明する病院紹介の動画を視聴後、質疑応答の時間を設けた。患者層や疾患、試験内容、より詳しい教育体制など、さまざまな質問が挙がり、川島副室長と保坂主任が丁寧に回答していた。

川島副室長は「オンライン説明会は初めての試みでしたが、思っていたよりもコミュニケーションができ、一人ひとりの雰囲気が伝わってきました」と手応えを感じている。

帯広病院が医師目指す 高校生を招き懇談会！

高大病連携プロジェクトで人材育成

参加者全員で記念撮影（前列中央が棟方院長）

帯広徳洲会病院（北海道）は医師を目指す地元の帯広柏葉高等学校2年生23人を招き、懇談会を開いた。これは旭川医科大学と地域の高等学校や医療機関が連携し、地域医療を担う人材育成を目的とした高大病連携プロジェクトの一環。7月29日に実施した。同院は2009年から協力している。

はじめに同院で地域医療研修中の李叡智・初期研修医（所属：湘南厚木病院）が新型コロナウイルス、林亮佑・初期研修医（所属:湘南鎌倉総合病院）がACP（アドバンス・ケア・プランニング）について講演。ACPは患者さんの意思決定を支援するプロセスを意味する。

この後、棟方隆院長が加わり懇談。棟方院長は強い意志をもち、あきらめずに勉強を継続する大切さを強調。「目標があれば成績は上がります」とエールを送った。

これまでに実際に医師になった生徒も多くいるという。「10年ほど前に参加した高校生で、旭川医大に合格し、私と同じ教室に入局した方がいました。先日、医局派遣で当院の土日の当直に来てくれ、同プロジェクトで私と話をしたことを懐かしく語ってくれました」と棟方院長。「医師を目指す皆さんには、患者さんのことを第一に考え、地域医療に貢献できる医師になってほしい」と期待を寄せる。

湘南鎌倉病院

感染の治療戦略など共有 第6回シャントケアセミ

湘南鎌倉総合病院（神奈川県）は9月3日、第6回湘南鎌倉シャントケアセミナーを開催した。地域の透析医療関係者53人に加え、同院スタッフを合わせ約70人が参加。情報共有を図り連携を深めた。昨年はコロナ禍で開催を見合わせたが、今年はオンライン形式で開催した。

同院血液浄化部の石岡邦啓部長による開会挨拶後、第1部として同院腎臓病総合医療センター・シャントケアセンターの五十嵐優人医師が「シャント感染のマネジメント」をテーマに特別講演。座長は成田富里徳洲会病院（千葉県）の荻野秀光院長が務めた。

オンライン形式で2年ぶりに開催

五十嵐医長はシャントケアセミナーの現況」をテーマに一般講演。座長は石岡部長。

入澤看護師は県から同院が運営受託している臨時医療施設（コロナ病棟）での透析患者さんへの対応に言及。また、シャント治療の受け付けからコロナ検査、手術までの流れを説明した。村上看護師は同院が運用するSTS（シャント・トラブル・スコアリング）やシャント回診などシャントケアの取り組みを紹介した。

最後に、シャントケアセンターの磯貝尚子センター長が閉会の挨拶を行い終了。磯貝センター長は「患者さんをご紹介いただいている地域の透析医療関係者の方々に、当院がどのような治療を行っているか知ってもらう大切な機会です。今後も継続し情報共有と連携に努めていきたい」と抱負を語った。

徳洲会グループ WEB医療講演スケジュール（9月28日～10月4日）

- 札幌東徳洲会病院
  - 29日（水）年後2時～「感染予防について」
- 仙台徳洲会病院
  - 28日（火）年後2時～「自宅でできる手術～いろいろな疾患のはなし～」
  - 29日（水）年後2時～「おこの病気あれこれ～健康の入口はお口から～」
  - 30日（木）年後2時～「心臓病の最新治療～用いた手術解説～」
- 成田富里徳洲会病院
  - 28日（火）年後2時～「そのシミとりませんか？～シミとりレーザー導入しました～」
  - 28日（火）年後3時～「変えた！潜在化患者の病気」
  - 30日（木）年後2時～「ウイルスと細菌の違い～医師の立場から～」
- 館山病院
  - 30日（木）年後2時～「知って備える介護保険」
- 東京徳洲会病院
  - 28日（火）年後2時～「睡眠時無呼吸症候群（SAS）について～昼間の眠気なんでも大したことない～それ、危険かも～」
  - 29日（水）年後4時～「①②の時代（①利用の仕方②時代の変化）～②の時代（②）株式詐欺被害にあわない為に（仮）証券業界抑止対策編～」
  - 30日（木）年後2時～「認知症の理解と予防～活気ある日常生活で認知症を予防しよう～」
  - 2日（土）年前11時～「夜のお話 目帰り手術ができます」
  - 2日（土）正午～「肺がんのお話～がん死に原因の男性1位 女性2位です～」
  - 29日（水）年後1時～「足でできる効果的なストレッチ～」
  - 29日（水）年後3時～「ご存知ですか？～PET検査に関するQ&A～」
- 湘南鎌倉総合病院
  - 28日（火）年後3時～「睡眠時無呼吸症候群の診断と治療について～」
  - 29日（水）年後3時～「はじめてWEB講座～母と子のための子育て講演会～」
  - 1日（金）年前10時～「はじめてWEB講座～母と子のための子育て講演会～」
  - 1日（金）年後2時～「妊娠糖尿病について～」
  - 2日（土）年前11時～「子育て中の方の食事アレルギー」
  - 2日（土）年後2時～「思春期の子の食事～」
  - 2日（土）年後3時～「子育て中の方の食事～」
  - 2日（土）年後4時～「ロボット手術～基礎と手術の実際～」
  - 29日（水）年後2時～「ロボット手術～」
  - 30日（木）年後2時～「婦人科がん検診～本当にこれでいいのか？～早期発見のための肺がん検診について～」
- 葉山ハートセンター
  - 29日（水）年後3時～「認知性肺炎～病気を知って健康的な生活へ～」
- 湘南藤沢徳洲会病院
  - 28日（火）年後2時～「助産師による出産育児 何でもQ&A～（別相談会1枠10分程度）」
  - 28日（火）年後3時～「特別講演　脊柱側彎症の手術治療　最新のコンピュータナビゲーションシステム（ExTRA Step3）とロボット脊椎手術」
  - 29日（水）年後2時～「ペインクリニック～「なぜ？」「どうしたらいい？」～」
  - 29日（水）年後3時～「ペインクリニック～「なぜ？」「どうしたらいい？」～」
  - 30日（木）年後2時～「ペインクリニック～「なぜ？」「どうしたらいい？」～」
  - 30日（木）年後3時～「ペインクリニック～「なぜ？」「どうしたらいい？」～」
  - 30日（木）年後4時～「ペインクリニック～「なぜ？」「どうしたらいい？」～」
  - 30日（木）年後5時～「ペインクリニック～「なぜ？」「どうしたらいい？」～」
  - 30日（木）年後6時～「ペインクリニック～「なぜ？」「どうしたらいい？」～」
  - 4日（月）年後3時～「腎尿病のお話～自覚症状がない 怖い病気～」
- 茅ヶ崎徳洲会病院
  - 28日（火）年後3時～「腎臓は生涯大切に～腎（きず）の小さな腎臓手術で治します～」
- 名古屋徳洲会総合病院
  - 28日（火）年後2時～「口腔外科ってどんなところ？～口腔外科で扱う病気と治療法～」
  - 29日（水）年後2時～「症状と診断 最新の治療～」
  - 30日（木）年後2時～「ウイルスと免疫そしてワクチン～35億年の生命の精緻と冷徹 自己免疫疾神経疾患を探ります～」
  - 1日（金）年後2時～「ご飯が食べられなくなった時 あなたはどうしたいですか～嚥下機能低下について～」
  - 4日（月）年後2時～「心臓病の予防について～元気で長生きしましょう～」
- 宇治徳洲会病院
  - 28日（火）年後4時～「血液から血血まで～」
  - 29日（水）年後2時～「脳神経内科（神経内科）の役割～どんな患者様を診るの？～」
  - 30日（木）年後4時～「ご相談ください！～子育ての相談～」
- 八尾徳洲会総合病院
  - 30日（木）年後2時～「今、が患者さんが知りたいこと～コロナの今注意したいこと～」
  - 30日（木）年後3時～「耳鳴り・耳鳴りはすりは耳に悪いって知っていますか？～」
  - 29日（水）年後1時半～「風邪薬と漢方薬について～」
  - 30日（木）年後1時半～「放射線治療とは～当院のトモセラピーについて～」
- 松原徳洲会病院
  - 28日（火）年後2時～「認知症ってなに？～知ってますか？～」
  - 29日（水）年後1時半～「脳神経検査ってどうなるの？～透析のお話～」
  - 30日（木）年後2時～「高い血圧病について～」
- 和泉市立総合医療センター
  - 1日（金）年後2時～「知ってみようコンマングラフ～10月はピンクリボン月間～」
  - 1日（金）年後4時～「ひざの痛みでお悩みの方へ」
- 中部徳洲会病院
  - 28日（火）年後3時～、年後6時半～「ペースメーカーってどんな機械？」
  - 29日（水）年後3時～、年後6時半～「感染性胃腸炎の食事について」

視聴を希望される方へ

※各講演は原則、当該病院のホームページからの事前申し込み制（例外あり）。あらかじめ視聴するための方法や推奨環境をご確認ください。

※各講演の参加費は無料（アプリのダウンロード・利用にかかる通信費はご負担ください）。

※各講演に関するお問い合わせは当該病院へ。

※講演によっては定員になり次第、締め切らせていただくことがあります。

※各講演は診療の都合などで予告なく変更・中止になる可能性があります。

↑Facebookの「徳洲会グループ」ページからもアクセス！